

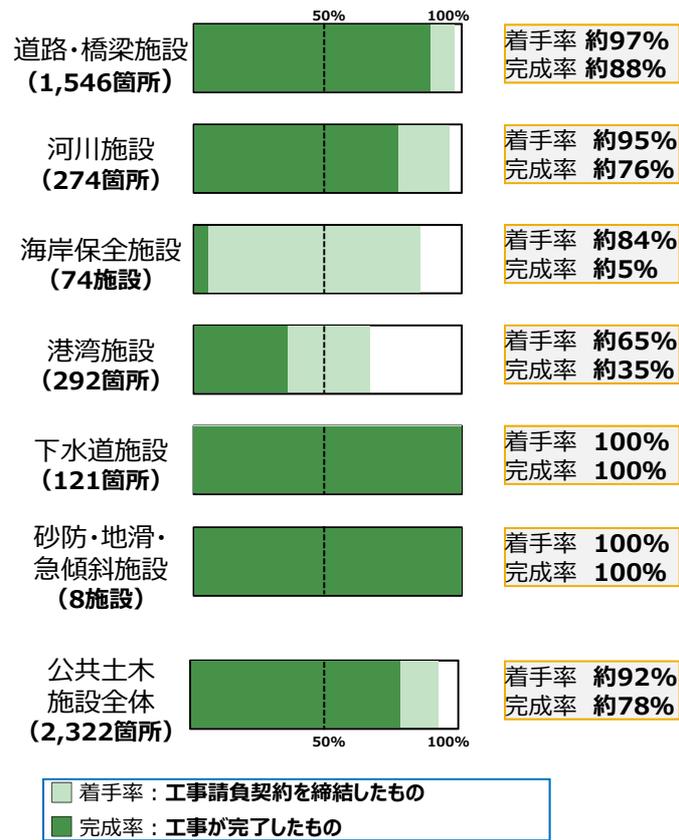
contents

- ・復興・復興事業の進捗状況【平成26年4月末現在】
- ・復興トピックス
- ・長沼ダムが竣工しました

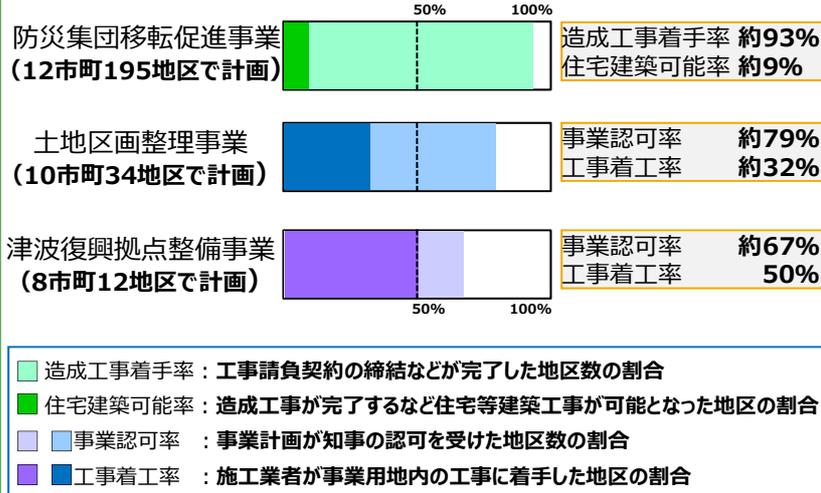


復興・復興の進捗状況【平成26年4月末現在】

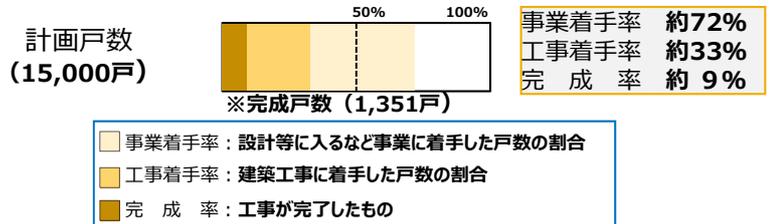
●災害復旧工事の進捗状況



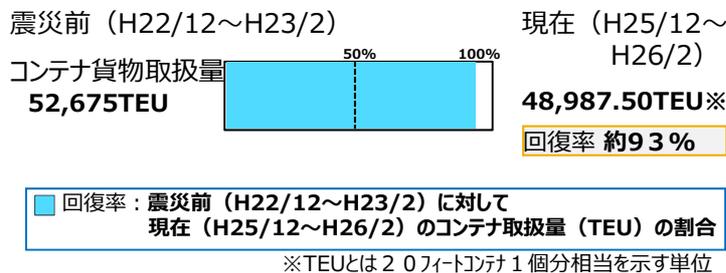
●復興まちづくり事業の進捗状況



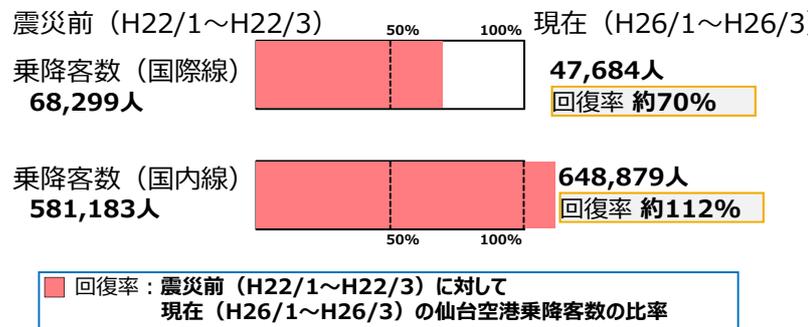
●災害公営住宅の整備状況



●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



●仙台空港乗降客数の状況



▲宮城県では、毎月復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。

詳しくはURLおよびQRコードを参照願います

・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復興・復興事業の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



復興トピックス（平成26年4月上旬～5中旬）

●4月1日 スカイマーク「仙台—神戸線」が新規就航

当日は、就航を記念して仙台・宮城観光PR担当課長「むすび丸」、仙台空港鉄道キャラクター「サツくん」、せんだい・杜の都親善大使らにより、到着初便及び出発初便の搭乗客に対して、歓迎のお出迎え・お見送りを実施しました。今回の就航により国内線は、1日に59往復運航することになり、仙台空港からの空の旅がますます便利になります。

▲詳しくは土木部空港臨空地域課ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kurin/h260401sky.html>



お出迎えの様子

【参考】仙台空港運航状況（平成26年5月19日時点）

国内線	往復数（/日）	国際線	往復数（/週）
札幌	18往復	ソウル	4往復
成田	2往復	グアム	2往復
小松	2往復	台北	2往復
名古屋（中部）	7往復	ホノルル （新千歳経由）	3往復
大阪（伊丹）	16往復	上海/北京	2往復
大阪（関西）	2往復	バンコク	季節運航
神戸	2往復	大連/北京	運休中
広島	2往復	長春	運休中
福岡	7往復		
沖縄（那覇）	1往復		

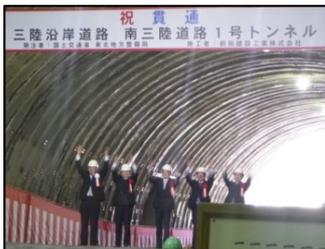
●「仙台—那覇線」季節定期便 就航決定

スカイマーク株式会社による「仙台—那覇線」が下記のとおり季節定期便として平成26年8月9日（土）から9月15日（月）まで就航することとなりました。同社の仙台空港路線は、平成25年4月の札幌、福岡線、本年4月の神戸線に続き4路線目の就航となります。

▲詳しくは記者発表資料をご覧ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/release/ho20140424-7.html>

●4月14日 南三陸道路1号トンネル貫通式 開催

国土交通省が整備を進めている三陸沿岸道路のうち、南三陸道路の1号トンネル（仮称）が貫通しました。内陸部と沿岸部の「復興の扉」を開く大きな一歩として、気仙沼までの早期開通に大きな弾みがつくとともに、被災地の早期復興や本県の産業・観光振興に寄与するものと期待されます。



●4月16日 岩沼市災害公営住宅建設工事起工式 開催

岩沼市では、被災6集落と旧市営住宅等の被災者に住居を提供するため、防災集団移転促進事業により造成する玉浦西地区（玉浦西地区4.13ha）と、隣接する区画整理事業地内の三軒茶屋西地区（0.4ha）に災害公営住宅を合計210戸（玉浦西地区178戸、三軒茶屋西地区32戸）の建設を予定しています。なお、今年の10月には一部入居開始予定となっております。



完成パース図

玉浦西地区現況

●4月29日 3M(スリーエム)仙台港パーク 部分供用開始

平成24年11月から復旧工事を進めていた3M仙台港パーク※（仙台塩釜港仙台港区中央公園）について、一部の工事が完了し供用を開始しました。

○供用再開施設

- ・テニスコート（6面）
- ・駐車場
- ・フィールドハウス（管理棟）



他施設については平成26年夏頃の供用再開を予定

※平成25年8月21日 住友スリーエム（株）とネーミングライツ契約を締結し、愛称を「3M仙台港パーク」としています。

●4月30日 東日本大震災による県管理道路の通行止めすべて解除

東日本大震災により全面通行止めとなっていた一般県道牡鹿半島公園線（コバルトライン・大原跨道橋から山鳥規制ゲートまでの延長約11km）が、平成26年4月30日午後1時をもって全面通行止めを解除しました。これにより、震災による県管理道路の通行止めはすべてが解除されました。



(一)牡鹿半島公園線
工事完成状況
(石巻市新山浜地内)



●5月17日 平成26年度津波防災シンポジウム 開催

岩沼市民会館中ホールにおいて、「津波防災シンポジウム 実践的防災のススメ～津波から生き残る～」を開催しました。基調講演として、岩沼市長 井口 経明氏、東北大学災害科学国際研究所助教 佐藤 翔輔氏に御講演いただきました。また、平成25年度より募集を開始した「伝承サポーター」の認定式を行い、遠藤土木部長より、伝承サポーターに認定された個人・団体・企業の17者の方々に認定証を贈呈しました。



▲詳しくは土木部防災砂防課ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.miyagi.jp/site/0311densyogensaip/dobokubu-tsunami-h260517.html>

●5月22日 仙台塩釜港 外貿定期コンテナ航路 (韓国航路) 増便

新たに仙台塩釜港（仙台港区）韓国の釜山港、釜山新港を結ぶ航路が増便することになりました。

この航路の就航で、外貿コンテナ定期航路は、北米航路(1航路週1便)、中国／韓国航路(3航路週3便)及び韓国航路(1航路週1便)とあわせて6航路週6便となりました。

今年度の新規航路の就航は、4月18日に就航した韓国航路に次ぎ2航路目です。

新規韓国航路就航第1船



事業着手から43年、長沼ダムが竣工しました！

●長沼ダムとは

長沼ダムは、一級河川北上川水系迫川の登米市迫町北方地先に、洪水調節、流水の正常な機能の維持、レクリエーションを目的とした多目的ダムです。

洪水調節として、迫川の計画高水流量1,700m³/sのうち600m³/sの洪水調節を行い、迫川沿川流域の水害を防ぐとともに、レクリエーション機能として、漕艇競技コースを有しています。

●調査開始から完成へ

昭和46年度に事業着手（実施計画調査開始）、昭和50年度に建設事業に着手し、用地買収（A,B,C,若柳の各地区にわけて買収）や付替道路等の補償工事を進め、平成12年には本体基礎工事に着手しました。

平成23年の「東北地方太平洋沖地震」の影響もあったものの、平成25年11月からはダム堤体や貯水池周辺地山の安全性等を確認する試験湛水を実施してきました。平成26年3月18日に終了し、ダム本体建設工事が完成の運びとなり、平成26年度中に管理に移行します。



工事概要・ダム諸元

形式：均一型アースフィルダム
堤高：15.3m、堤体積：540,000m³
総貯水容量：31,800,000m³
有効貯水容量：30,600,000m³
補償工事：国道398号 L=0.7km,
荒川サイフォン 外
総事業費：83,440百万円

▲長沼ダム位置図および諸元等



長沼水門



長沼ダム全景（試験湛水洪水時最高水位到達時）

●平成26年5月31日に竣工式 開催

計画から40年以上の大プロジェクトの完成を記念して、竣工式が長沼フートピア公園で開催されました。当日は、地元地権者の皆様や県選出国會議員、県議會議員の方々をはじめ、事業にご尽力いただいた多くの関係者の皆様に出席を賜りました。



式典の様子

▲詳しくは土木部河川課および登米地域事務所ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/dam-naganuma.html>

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmdbk/h26naganumadamusyunnkousiki.html>



○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

TEL：022-211-3108

E-mail：dobokgk1@pref.miyagi.jp

H P：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>

(H26.5.31 作成)